

平成30年度かながわの遺跡展

潮風と砂の考古学

平塚市博物館 特別展示室

2018.12.1(Sat.)⇒2019.1.6(Sun.)

【9:00～17:00 (入館は16:30まで)】

休館日 月曜日(12/24は開館), 12/25, 12/29～1/3

観覧料 無料

主催 神奈川県教育委員会

平塚市博物館〔平塚会場〕・神奈川県立歴史博物館〔横浜会場〕

後援 神奈川新聞社・朝日新聞横浜総局・毎日新聞横浜支局・読売新聞横浜支局

産経新聞横浜総局・東京新聞横浜支局・日経新聞横浜支局・NHK横浜放送局

十ノク・共同通信横浜支局・時事通信横浜総局・ラジオ日本・FM yokohama 84.7

◆本展示に関する問合せは

神奈川県埋蔵文化財センターへ (☎ 045-252-8661)

神奈川県立歴史博物館 特別展示室

2019.1.19(Sat.)⇒2019.2.17(Sun.)

【9:30～17:00 (入館は16:30まで)】

休館日 月曜日(2/11は開館), 1/29, 2/12

観覧料 常設展観覧券でご覧いただけます

20歳以上(学生は除く) 300円(250円)

20歳未満・学生 200円(150円)

高校生 100円(100円)

65歳以上 100円(100円)

※中学生以下・障害者手帳を持つ人は無料

()内は20名以上の団体の場合

潮風と砂の考古学



湘南砂丘地帯最古段階の縄文土器
(若尾山遺跡・藤沢市)※

人々が集い楽しむ湘南の海岸。
歴史深き街の一端を縁取る鎌倉の浜辺。
開国以来の世界への玄関口、横浜港。
そのうしろには、海と潮風がつくった
砂の土地が埋もれています。
かつてはみぎわにあったその土地
〈砂丘〉・〈砂嘴〉の上にも、
潮風に吹かれながら生きる
人々の姿がありました。
砂の上に消えず残された
その足跡をたどってみます。

★ 特別講演 ★ 最新！海《と》考古学 —海辺の遺跡の調査・研究—

第①回

杉山浩平 (東京大学総合文化研究科特任研究員)
「相模湾を眺めていた弥生時代の人々」
平成30年12月8日 (土) 14:00~16:00
平塚市博物館講堂・定員80名

第②回

古田土俊一 (浄光明寺執事・什宝物調査整理係)
「中世鎌倉における沿岸部の性格」
平成31年1月20日 (日) 14:00~16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名

第③回

石村 智 (東京文化財研究所音声映像記録研究室長)
「人はなぜ砂の上に住むことを選んだのか」
平成31年2月11日 (月・祝) 14:00~16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名

◆ 入門講座 ◆

久我谷溪太 (神奈川県教育委員会)
「担当者Kといっしょに学ぶ、
砂の遺跡のあれ・これ・それ」
平成31年1月26日 (土) 14:00~16:00
神奈川県立歴史博物館講堂・定員70名



県庁舎下の砂嘴(ヨコハマ)から出土した手焙形土器
(北仲通一丁目遺跡・横浜市)

▲ 特別講演・入門講座 申込方法 ▼

往復はがきに希望行事名(特別講演は希望の
回を明記・各回ごとに別のはがきで申込)・開
催日・住所・氏名・電話番号を明記して申込
・申込先：神奈川県埋蔵文化財センター
〒232-0033
横浜市南区中村町3-191-1
締切：特別講演 第①回 11月20日
第②回 1月4日
第③回 1月25日
1月4日 必着
入門講座
特別講演第②・③回と入門講座は並観覧券
※応募者多数の場合は抽選



竪穴建物の床に埋設された常滑焼甕
(下馬周辺遺跡・鎌倉市)

【平塚会場】

12月8日 (土) 11:30~
12月16日 (日) 13:30~

【横浜会場】

1月20日 (日) 11:30~
2月9日 (土) 13:30~
2月17日 (日) 11:30~

● 展示解説 ● 申込不要・各回約1時間

平塚市博物館

※改修工事につき常設展示室はご覧いただけません



JR 東海道線平塚駅(東口改札)北口から
徒歩約20分 タクシー約5分
神奈川中央交通バス 美術館入口バス停下車 徒歩約3分 ほか

潮風に吹かれたそのあとは——

神奈川県立歴史博物館 次回展示

特別陳列

屏風をひらけば

— 神奈川県立歴史博物館の屏風絵 —

平成31年
3月2日(土) ~ 3月31日(日)

神奈川県立歴史博物館



みなとみらい線
「馬車道駅」5番出口から徒歩1分
市営地下鉄「関内駅」から徒歩5分
JR「桜木町駅」「関内駅」から徒歩8分

※写真提供：藤沢市郷土歴史課